

平成 25 年度対セネガル草の根・人間の安全保障無償資金協力

「マリアマ・バ中高等学校改修計画」

「マリアマ・バ中高等学校改修計画」(84,467 ユーロ(約 900 万円))では、ダカール市ゴレ島に位置する公立女子校であるマリアマ・バ中高等学校に対し、教室棟、食堂、講堂、寮、柵の改修を行います。

マリアマ・バ中高等学校は、1977 年に設立された中高一貫の女子寄宿学校で、ユネスコの文化遺産の1つであるゴレ島に位置しています。同校は、毎年セネガルの小学校 6 年時に実施される全国統一試験の上位 25～30 名の女子学生が入学する進学校です。中等部は 4 年制、高等部は 3 年制で、学校敷地内に食堂、講堂、寮も併設されており、学生は 7 年間の大部分を同敷地内で過ごすこととなります。しかしながら、同校はゴレ島での開設から現在までの約 30 年間大規模な改修工事が行われておらず、そのため各施設の老朽化が進み、学生の安全も危ぶまれるほどとなっています。教室棟や寮等は外壁、教室内等様々なところに亀裂が入り、壁の一部が崩れ落ちる危険があり、廊下の天井は木枠や瓦が剥き出しになっています。

本計画により、勉学に専念する年間約 210 名の女子学生が、安全に学校生活を送れる環境が整備されると同時に、女性の社会進出の後押しとなることが期待されています。



左:マリアマ・バ中高等学校校長キャサリン・サール氏

右:北原大使